

手島右卿特別展 高円宮妃が鑑賞



▲ 手島氏の作品を高円宮妃久子さまに解説する仲川教授(左端)。久子さまの右は朝比奈豊毎日書道会理事長と手島右卿氏子息の泰六氏=毎日書道会提供

文学部・仲川教授 恩師の書芸術 世界性を解説

少字数書を究め、美術点を集めた第65回毎日書道展の特別展示「手島右卿の書芸術―その世界的活躍―」(7月10日～8月4日)が、東京・国立新美術館で開かれた。手島氏は66年、専修大学に新設された文学部の初代教授を務めた。その手島氏の代表作43

長)は、初日に鑑賞された高円宮妃久子さまの解説を務めた。仲川教授は「崩壊」「龍虎」「燕」「遅」「飛」……などの独特の運筆、大胆かつ個性的な文字造形への試みから生まれる、鮮やかな表情について語った。高校時代、手島氏の臨書に出会い、「魂を揺さぶられた」という仲川教授は上京して大学に入學後、弟子入り。2006年「恩師の名を冠した『手島右卿賞』の第1回受賞者だ。

7月13日にはギャラリートークを行い、訪れた書道ファンに、「右卿先生が操る筆は、まるで生き物のように動いた」などと仲川教授ならではのエピソードを披露した。

生き物の被ばくを討論

日本ペンクラブ脱原発シンポ「動物と放射能」

山田健太文学部教授が理事を務める日本ペンクラブ(浅田次郎会長)のシンポジウム「脱原発を考えるペンクラブの集い Part 3」動物と放射能(日本ペンクラブ、専修大学文学部人文・ジャーナリズム学科共催)が6月29日、神田キャンパスで開催された。約230人の参加者を前に、浅田会長は「こと原発問題に関しては、元を過ぎて忘れてはいけない」とあいさつ。昨年4月から1年あまりにわたって福島第1



KS特別講演 楽しく学べるソーシャル・ビジネス

KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミーと川崎市主催の特別講演「楽しく学べるソーシャル・ビジネス」が7月21日、本学サテラ

講師は川名和美商学部非常勤講師。「ご近所の課題から、未来の社会づくりに関わる大きな問題まで、解決するのはだれが?」をテーマに環境・貧困などの社会的課題の解決を図るための取り組みを持続可能な事業として展開するソーシャル・ビジネスの入門的な話や具体事例を紹介し写真で

川名講師は、テーマの答えは「私」であると話し、市民自らが課題解決の担い手であるとメッセージを送った。ユーモアを交え、参加者に質問を投げかけながらの講演は大きく貢献している。

募集人員→受講生30人、部分履修生5人
◇学費→受講生5万円、部分履修生(1科目)1万円
◇開講場所→専修大学サテライトキャンパス(小田急線向ヶ丘遊園駅北口アトラスタワー2階)
◇申し込み期間→9月2日(月)～9月11日(水)(必着)
◇選考→書類審査(1次)・面接(2次)
【募集説明会】
▽8月24日(土) 14時45分～、専修大学サテライトキャンパス
▽8月27日(火) 19時、麻生区役所
▽8月29日(木) 19時、高津区役所
▽8月30日(金) 19時、川崎市産業振興会館
▽9月1日(日) 14時45分～、専修大学サテライトキャンパス
▽日時→8月24日(土) 13時～▽講師→岸川政之氏(三重県多気郡多気町まちな宝創造特命監)第2回「子連れ出勤という働き方のデザイン」ライフワークミックスは地域を変えるか?」
▽日時→9月1日(日) 13時～▽講師→光畑由佳氏(有限会社モーターハウス代表取締役)

KS公開講座

「地域力・市民力を育むソーシャル・ビジネス」
専修大学サテライトキャンパスで行われる公開講座。両回とも講座終了後にKSソーシャル・ビジネス・アカデミーの募集説明会を実施する。
第1回「地域の宝を探し出せ!」高校生レストランの仕掛け人が語る



▲ 吉沢氏(左)の発言に聴き入る出席者

「ポランティアが引くに引けない状況が続いている」と訴えた。この後、岩崎監督やベツト救出ボランティアに同行取材した経験を持つ作家の森絵都氏が加わり、日本ペンクラブ平和委員会の高橋千帆委員長との進行で「対話・質疑応答」が行われた。出席者それぞれが息の長い取材や調査を誓うなか、会場からは首都圏に存在する「ホットスポット」での異変を挙げ調査を求める声も。吉沢氏が「原発を終わりにするためあと20年、牛と共に生きていく」と述べると拍手が巻き起こった。

相馬学術奨励基金の2013年度海外研究員に鈴木英勝石巻専修大学理工学部准教授「写真」が選ばれた。9月から1年間の海外派遣を目的に設けられた。鈴木准教授は1998年、石巻専修大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士(理学)。専攻は極域生物学。



鈴木准教授は1998年、石巻専修大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士(理学)。専攻は極域生物学。